



鈴鹿市議会だより

■発行/鈴鹿市議会 ■編集/鈴鹿市議会広報広聴委員会

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL.059-382-7600 <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai>



議場にて

12月定例会のあらまし

12月定例会は、12月4日から21日までの18日間の日程で開催されました。本定例会では、平成19年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)など議案16件が市長から提出され、議案質疑、各委員会での審査の後、討論及び採決の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。また、議員提案による、「鈴鹿市に情緒障害児短期治療施設の建設を求める意見書」ほか3件の発議案が21日の本会議で提出され、原案のとおり可決されました。なお、意見書については関係機関へ送付し、その実現について要望しました。(議決一覧については10ページに記載)

主な内容

- 一般質問……………2～8P
- 議会からの提言……………8P
- 議会の動き……………9P
- 委員会活動状況……………9P
- 12月定例会議決一覧……………10P

議員からの寄付は禁止されています

議員(候補者を含む)が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会等の行事に、寄付や差し入れなどをしたり、祝い金(出産・新築等)や贈り物をすることは、公職選挙法等により罰則をもって禁止されています。また、要求した人や受け取った人も同様に罰せられます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



政友会 水谷 進 議員

- ①神戸中学校の跡地利用について
- ②防災について
 - (1)緊急地震速報の導入計画について

質問① 平成22年度に移転する神戸中学校の跡地は、次のような利用方法ができるのではないかと。(1)体育館を地域スポーツ振興の為に利用できないか。(2)校舎の一部を市民活動拠点施設として、利用できないか。(3)グラウンドを水と緑の公園として利用できないか。(4)災害時での緊急避難場所として有効である。また、ドッグラン等他の要望もあり、売却の結論を急がず、地域住民の意見や要望も聞くべきである。

答弁① 基本的には新神戸中学校の改築費用に充てるという考えである。しかし、関心が高いと認識し、地域の方々に対しては、説明や意見を聞くなど意見交換ができる場を作っていきたい。

質問② 緊急地震速報の導入を至急すべきと思うとその計画はあるのか。また、「東南海地震」の受信予想時間はどれくらいか。

答弁② 来年4月より小中学校より各1校、公民館から1館、文化会館や市庁舎など計5施設で試験的に運用し検証して、マニュアル作りをする。「東南海地震」では、気象庁よりの情報では、鈴鹿市へは30秒前に信号が到達すると確認している。



すずか倶楽部 南条 雄士 議員

- ①モータースポーツのまちづくり
2009年F1再開に向けたまちづくりについて問う

質問①(1) 経済効果を踏まえたモータースポーツ関連予算の増額は。(2)公共交通機関への直通シャトルバス、公共用地を利用したパーク&ライド、道路標識に鈴鹿方面の表示を増やす等、周辺整備について。(3)来訪者に対する職員の受け入れ態勢や、県・周辺市町との連携について。(4)鈴鹿市民が一番大切であるという認識に立ち、モータースポーツに関する市民特典を用意しては。(5)市内産業活性化のため、特産品等の土産品にF1限定仕様を設ける

ことを生産者に提案してみても。(6)鈴鹿市を売り込む格好の材料である鈴鹿ナンバーを、鈴鹿市役所で取得できないか。

答弁①(1) 更なるモータースポーツ活性化のための施策を進める必要があり、庁内において調整中である。(2) 近隣市町等関係機関との連携を図り、主催者等と検討する。パーク&ライド用地として鈴鹿川河川緑地等を検討している。道路標識は関係各団体へ要望する。(3) 周辺市町や三重県の協力を得ながら、情報発信に努める。(4)新たなF1開催という意識で、鈴鹿サーキット等と協議する。(5)F1を題材にした土産品の創出について、関係機関・生産者と協議する。(6)『新たな地域名表示ナンバー連絡協議会』で、出張交換ができるように提案する。



緑風会 彦坂 公之 議員

- ①燃料電池実証試験について
- ②「災害時要援護者避難支援」について

質問① 燃料電池実証試験のこれまでの取り組み成果と、今後の取り組みの方向性は。

答弁① 実証試験の成果については、本市の補助制度の実施や実証場所の提供などを取り組んだ結果、貴重なデータ蓄積など実用化の進展に役割をはたした。又、高度教育機関での人材育成をはじめ燃料電池教室開催など環境教育面でも成果があったと考える。今後の取り組みについては、燃料電池産業へ参画に意欲のある地元企業もあることから、補助制度を創設し、

三重県とも協働して新たな支援策を講じる。

質問② 災害発生時、自力で避難がむずかしい、高齢者などを、支援する「災害時要援護者避難支援」制度を早期に確立する必要があると考える。具体化に向けての取り組みについて問う。

答弁② 災害時要援護者避難支援については、内閣府から出された指針に基づき、本年6月にプロジェクトチームを発足し協議を重ねている。支援内容など具体的な項目や個人情報の取り扱いなど、今後各部門をまじえ協議し、平成20年度中に計画を取りまとめた。



あくていぶ21 伊藤 健司 議員

- ①障がいのある方々への支援について
- ②地域福祉活動拠点の整備について
- ③文化都市「鈴鹿」の緑化について

質問① 生徒の進路支援、日中一時支援、就労支援をどのように取り組んでいくのか。

答弁① 進路支援は特別支援コーディネーターの活用強化をする。日中一時支援は事業所拡充のため介護保険事業所にも委託の範囲を広げていけるよう努める。就労支援について、ジョブコーチ制度は関係機関へ積極的に必要性を働きかける。職親制度やゴールド人材センタとの協働・連携は関係部局に対する働きかけの強化。情緒障害児短期治療施設の設置については今

後も誘致に向けて県に働きかける。

質問② 総合福祉センターの必要性と現在ある社会福祉センターの整備についてどのように考えているか。

答弁② 総合福祉センターの必要性を含め、現在の社会福祉センターの建替え等を検討する委員会組織化を考えていく。

質問③ 日本の道路百選に選ばれたこともある樺並木がシンボルであった中央道路の、文化的景観の消滅等、今後の緑化推進はどのようにしていくのか。

答弁③ シンボル道路としての緑化及び景観については「まちの緑化推進」の中の道路の緑化推進で行う。今後は市民の理解の向上に努め、緑・自然のあるがままの状態での緑化を進めていきたい。



政友会 鈴木 義夫 議員

産業誘致の促進策について

質問① 産業誘致は地域の発展のため大変重要である。鈴鹿市には既に多くの企業が立地しているが、投資の良好な立地条件を勘案すればまだまだ発展の余地は大きい。工業団地の新規造成計画はあるか。

答弁① 当面、新規造成する具体的な計画はない。

質問② 最近、農地の再活用策として工業団地を造成しようとの機運が各地にみられる。こうした動きを助長するには「進出企業探し」を手助けすることが重要。そこで、三重県の東京事務所に職員を常駐

させるなど、情報収集専担部署を設置してはどうか。

答弁② 三重県の各機関とは情報交換しているが、今後益々連携を強めたいと考えており、県の東京事務所に職員を常駐させることも検討してゆきたい。

質問③ 当市の産業誘致政策は他市町村と比べてまずまずの水準にあるが、三重県の同政策は他県と比べてかなり消極的である。これが当市の産業誘致の障害のひとつとなっている。例えば、産業誘致に対する補助金を増額するなど、もっと積極的な姿勢に転換するよう強く働きかけてはどうか。

答弁③ 三重県も努力しているが、他県にはさらに充実した優遇制度を設けていることは認識している。近隣他市とも連携し県に制度の充実を働きかけたい。



あくていぶ21 森 喜代造 議員

- ①高齢者世帯の火災時における対策
- ②赤バイの活動の現状について
- ③成人式について
- ④地籍調査の進捗状況について

質問① 高齢者世帯の火災を未然に防ぐ有効な予防策はあるのか。

答弁① 高齢者宅を対象に住宅防火診断を実施し、地域の民生委員の協力を得て高齢者宅を訪問して防火指導を行う。又住宅用火災警報器の設置を義務づけ、啓発活動を実施していく。

質問② 赤バイの活動状況について初期消火には先導していくのか。

答弁② 出初式やイベントによる広報活動、更に火災など消防車両が入れない狭隘地区きょうあいに活動している。又通常の火災において消防車を先導する事はない。

質問③ 毎年市民会館で行っているがなぜ場所を変更したのか。又雨や寒さ対策、駐車場確保は万全か。

答弁③ 成人式の実行委員会を立ち上げ、知名度の高い鈴鹿サーキットでの開催を望んだ。雨の場合は500人収容のVIPルームを用意しており、寒さ対策は各案内を通して防寒対策の呼び掛けを実施している。駐車場はレーシングコース及び遊園地駐車場が利用できる。

質問④ 現在の進捗状況と終了年度予定はいつか。

答弁④ 白子駅周辺市街化区域から順に実施する。終了予定は60年後で市の9割を目標にしている。



無所属クラブ 板倉 操 議員

- ①空地の雑草の除去について
- ②行財政改革計画の実施結果について

質問① 空地に雑草が繁り蚊や害虫の発生、交通障害、火災や犯罪発生の温床になりやすい等の理由から解決を求める市民の要望はあるか。解決に向けて草刈り条例の制定をする必要を考えているがどうか。

答弁① 昨年実績は241件、消防対応(枯草)は42件である。苦情は夏場に多く、市外の持主も含まれるので3割は解決できない。条例については、3割にどのような効果があるのかについて検討し、今後の課題としたい。

質問②(1) 補助金のカットや見直しが障がい者や子

育て世代への補助にむけられている。格差を拡げていくことになるのではないかと。また補助金・負担金等の適正化にそって行われていないと思うがどうか。

答弁②(1) 行財政改革計画にそってやっている。格差を拡大していくつもりはないと考えている。

質問②(2) 給食調理室、公立保育所の民間委託・民営化が計画に上がっているが、国は地方にコスト削減を求める方法として民営化等が出ていると思う。市民サービスの向上には繋がらないと思うがどうか。

答弁②(2) 官から民への流れはあるが、単にやればよいとは考えていない。市民のために公が守るべきものは守らなければと考えている。



公明党 伊藤 寿一 議員

- ①災害時の要援護者支援の強化と充実について
- ②障がい者の就労支援について
- ③AEDの貸し出し制度の充実について

質問① 災害時要援護者情報の共有について、どのように考えているか。「支援会議」について市内横断組織の立ち上げはいつか。要援護者支援に向け、個人情報保護条例との関係をどのように考えるか。

答弁① 要援護者本人から同意を得ずに関係機関の間で、情報を共有する方式と名簿等への登録を希望した者の情報を収集する方式を合わせて活用する協議をしている。市内組織は災害本部の組織を活用して進めたい。災害後の外部への情報提供などを行う場合、

個人情報保護審査会への諮問を考えている。

質問② 障がい者相談支援センター「あい」の利用状況や相談内容は。市役所内の就労実習の進捗状況は。庁舎内で授産施設の製品を販売してはどうか。

答弁② 件数はひと月平均500件。内容は日常生活、就労、居宅サービスの利用が上位を占めている。市役所内での就労実習は、体験の場を提供できないか検討していきたい。販売製品については調査したい。

質問③ 導入先の管理運用は明確適正か。貸し出し制度を充実すべきである。

答弁③ 設置後の維持・管理は、配分した各担当課の管理・運用となっている。貸し出し用AEDの増強については、計画的な運用を図っていきたい。



すずか倶楽部 中西 大輔 議員

- ①NTT研修センタ跡地利用について
- ②江島総合公園指定管理者選定を問う

質問①(1) 9月定例会質問中提案に対する市の対応及び現在の全体進行状況について。

答弁①(1) 桜まつりについては大学に伝えたが開催には課題がある。計画の再評価、見直しは現時点では考えていない。防災型広場と新産業支援の2ゾーンは市関係部署で取り組み、残りについてはNTT西日本の考えを尊重する。しかし企業進出はまだ具現化していない。メディカルバレー構想推進の連絡調整会議を立ち上げた。

質問①(2) 市の2ゾーンについての取り組みは。

答弁①(2) 防災型広場について都市再生機構の制度を活用を考えている。新産業支援はものづくり支援センター設置事業を検討している。

質問①(3) 白江土地区画整理事業との連動は。

答弁①(3) 事業中の保留地は総額16億強で交流についての施設を検討しているが連動はしていない。

質問①(4) 今計画における市民とは。

答弁①(4) 個人、法人を問わず市域に住所がある人で今回は市当局で判断し法人を市民代表とした。

質問② 9月に討論を行った、江島総合スポーツ公園への指定管理者導入、選定について。

答弁② 選定委員会の答申に基づいて選定した。

政友会 市川 哲夫 議員



- ①文化行政について
- ②街路灯の運営実態
- ③農業政策について

質問① 鈴鹿市の文化行政の中で本市の指定文化財及び文化財保護の実態についてお聞かせ頂きたい。尚、重要文化財として見送られている三宅町の夢想国師についてどのように見ているかも伺いたい。

答弁① 文化財を守り伝えていくために行政は指定登録し適切な保護、管理措置をとり、保存のための助言や補助を行っていく。夢想国師の指定文化財については、国師の業績は偉大でもあることから、古文書等の地元資料収集も含め、説が明確になれば指定の方向

も考えられないことはない。

質問② 街路灯の運営について安全面と費用負担あるいは照明維持管理の実態はいかに。

答弁② 街路灯は道路照明灯、集落における防犯灯また、商店街が設置する街路灯に分かれ、いずれも安全確保のために設置されているが、費用負担はそれぞれ異なる。街路灯は鈴鹿市商業団体連合会の組織のもと、設置や修繕は一部補助の対象となる。

質問③ 農業政策について、(1)バイオエネルギー(2)基盤整備についての考えを問う。

答弁③ 代替エネルギーとしてだけでなく地球温暖化防止、環境面等、農業生産の在り方について重視していきたいと考えている。

あくていぶ21 矢野 仁志 議員



- ①鈴鹿市のシティセールスについて
- ②鈴鹿市の防犯に関する安全安心について
- ③災害時及び救急について

質問① 現在、鈴鹿サーキットや椿神社などの特定資源に依存しているが、鈴鹿墨や伊勢型紙などの販売状況は。ほかにも在来作物の再発掘はどうなっているのか。バルーンフェスティバルは、協賛者が少なく残念で、参加者も少なくPR不足では。

答弁① 既存の観光資源の活性化を始め、イベント型観光の方向性を伸ばし、地域一体となった観光振興を考えることを方向性として掲げ、鈴鹿市観光まちづくり委員会を立ち上げ、具体的に検討している。

質問② 箕田・長太地区をはじめ廃止交番が多く住民は大変不安である。県に対し増員を要望したい。

答弁② 交番活動と、自主防犯活動団体等の取り組みで、犯罪を起こさせにくい環境づくりを進めることができると考える。

質問③ 幼稚園における災害救急対応や災害マニュアルの有無、災害訓練状況、備蓄に関して現状は。

答弁③ 災害救急対応は、まず職員が応急手当をし、保護者へ連絡、病院への搬送や救急車の要請ができるようにしている。応急手当は、全職員が対応できるように受講の指導をしている。危機管理マニュアルを職員間で周知徹底を図っている。避難訓練は、学期に1回程度実施している。非常食の備蓄はない。

すずか倶楽部 後藤 光雄 議員



- ①鈴鹿市シティセールス戦略について
 - (1)戦略作成の過程について
 - (2)すずかブランド・シティ・セールスの推進について
 - (3)観光まちづくりについて

質問①(1) 本年7月にまとめられていた「すずかブランドときめき戦略」は、どのように作られたか。

答弁①(1) 若手職員13名から成る検討ワーキンググループを設置し、15ヶ月16回のワーキングをもって、庁内会議、商工会議所等とも意見交換して作成した。

質問①(2) 仙台市のシティセールス戦略のように、具体的なプランや、数値目標を掲げた方が部局間連携も明確になると考えるが、どのように推進していくのか。

答弁①(2) 庁内の情報共有・意識づけを行ってきた。第5次総合計画の単位施策に成果指標を設定しているので、この指標をシティセールスの見地から再検討して成果指標の達成に努めていく。

質問①(3) 鈴鹿の歴史的・文化的遺産を観光まちづくりに大いに活かして欲しい。鈴鹿に縁のあるヒト・モノ・を大切に、地域のまちづくり意識と協働して集客交流事業を展開して欲しい。

答弁①(3) 後世に継承していく責任のある文化財は大切にしながら、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりの為に、10月に立ち上げた「鈴鹿市観光まちづくり委員会」を中心に庁内関係各課との連携はもちろん市民のみなさん、民間事業所のみなさんの御協力もお願いしながら進めていく。



すずか倶楽部 原田 勝二 議員

- ① 鈴鹿市行財政改革について
(鈴鹿市行財政改革推進委員会の意見書を受けて)
- (1) 寄付条例の新設について
- (2) 特殊勤務手当の見直しについて

質問①(1) 普通建設事業費が平成10年度に比べ今年度は70億円に減額になっている。そこで、バルーンフェスティバルや大黒屋光太夫記念館の企画を対象事業にし、全国に発信してはどうか。シテイセールスも視野に入れて今後はどう考えていくか。

答弁①(1) 条例はないが、同様の制度は存在し、特定目的を持った基金に積み立てを行ったりしている。国の「ふるさと納税制度」の動向も注視しつつ、条例化については、今後の検討課題としたい。

質問①(2) 内容はこういったものか、市独自の手当とは、平成17・18年決算の実績は、見直しの必要性があるのか、今年度の取り組み状況や今後の展開は。

答弁①(2) 内容は市税の滞納整理の事務に従事したときに支給する市税事務手当をはじめ17種類ある。市独自の手当は市税事務手当を含め8種類ある。平成17・18年実績は、約4000万円であった。見直しの必要は時代の変化の中で特殊性が薄れたもの、月額支給になっているものについては、早急に見直したい。他市との均衡に考慮し支給金額の見直し及び新規手当を設置することとして整理している。平成19年度は約1,500万円の減額になると思われ、今後は、十分に関係団体と協議を行い、できるだけ早い時期に条例の改正を行いたい。



緑風会 藪田 啓介 議員

- ① 特別支援教育について
- ② 学校と保護者のかかわりについて

質問①(1) 学習障がい、注意欠陥性多動症や高機能自閉症などの状況を示す児童生徒への対応はどうか。

答弁①(1) 発達障がいのある児童生徒には一人一人の教育ニーズを把握し適切な指導や教育が必要であり、特別支援コーディネーターを指名し学校全体で組織的に支援する体制づくりをしている。

質問①(2) 教職員への研修はどのようにしているのか。

答弁①(2) 特別支援教育を進めるにあたり、昨年と本年で715名の研修講座を持ち、市内教育全体の指導力

や専門性の向上をはかっている。

質問②(1) 保護者と学校のかかわりと保護者からの要求などの現状はどうか。

答弁②(1) 教育研究所や青少年課を中心に不登校、いじめなど教育相談やカウンセリングに取り組んでいる。一部の保護者からは、一方的な批判や理不尽な要求や抗議もあり、学校ではその対応に苦慮している。

質問②(2) 理不尽な要求などに対応する第三者的な教育相談窓口の設置はどうか。

答弁②(2) 理不尽な要求で学校全体の教育活動が阻害される事があるとはならないので、第三者の参加した専門家チームによる対応を検討している。



無所属クラブ 杉本 信之 議員

- ① 下水処理水の海苔養殖への影響
- ② 多重債務者対策について

質問① 公共下水の普及が進み処理水が増加する反面、海苔の生産量が減少している。海苔の生育は8℃～13℃だが、塩素が混和され22℃もある処理水が海苔網の上を流れると海苔の芽が落ちてしまう。この現状を市はどのように考えるか。今後は処理方法の変更が必要と思うがどうか。

答弁① 南部浄化センターが共用開始する前の平成8年の生産量は1億580万枚で、平成18年には6,443枚になった。原因としては漁業者の減少や河川水の減少

と栄養不足などがあり特定はできない。しかし今後三重県は、処理水が海や漁場に影響を与えているという前提で関係者と話し合っていくとの事で、市としても海苔養殖の現状を理解し、関係機関との協議について真摯に対応していく。そして下水道整備と漁業者との共存ができるようにしていきたい。

質問② 各種税や公共料金を扱う担当部署や、市民と直接触れる職員が多重債務のシステムを知り、早期発見して対処する事が行政に望まれるが、市としての取り組みはどうか。

答弁② 担当職員の研修を充実し、全庁的にも相談窓口への速やかな連携を図り、多重債務者救済に努めたい。

あくていが21 森田 治已 議員



① 鈴鹿市青少年対策推進本部の進捗状況について

質問① 近年、社会では、都市化や情報化の進展、少子高齢化や核家族化など、子どもを取り巻く環境が変わり、家庭の養育力や地域の教育力の低下が指摘されている。こうした環境の変化に伴い、問題行動の低年齢化や複雑化が憂慮されており、その対応に向けては、学校、家庭、地域、行政などが相互に連携し、協働して取り組んでいくことが重要であると考えますが、青少年対策推進本部の進捗状況と学校の登下校の安全安心パトロールの取り組みを伺う。

答弁① 平成17年5月より青少年対策推進本部を設置し、青少年施策を横断的・総合的に推進している。本年度は特に、次の5つの事業を重点事業に位置付け青少年対策をすすめている。「子どもの生活習慣向上プロジェクト事業」として、「早寝早起き朝ごはん運動」を実施し、ほかに「放課後子ども教室推進事業」「外国人支援事業」「問題行動対策事業」「すずか安全安心ネットワーク」等の充実強化を図る中で、子どもの安全安心を確保する取り組みをすすめている。一方、各小学校ごとに、保護者や地域の方のご協力によりパトロール隊が組織され、協力いただいている。また教育委員会では青色回転灯パトロール車によるパトロールを実施している。

日本共産党 石田 秀三 議員



① 福祉医療助成制度について
② 妊産婦検診を公費負担で

質問① 三重県は乳幼児・心身障害者・一人親家庭の医療費助成制度を見直し、対象を広げる一方で「2割の一部負担」を導入しようとしている。お金の心配なく医者にかかる医療費無料化の理念を崩す一負担導入に、市長は反対の態度を表明されたい。また、導入が強行されても、鈴鹿市は市民の負担増を肩代わりする措置を講ずることを求める。

答弁① これまで県との会議の中で、一部負担には反対の意見を出してきたが、まだ検討の途中であり動向を見

守りたい。市としての負担も、その結果によって考えたい。

質問② 妊産婦検診は健康保険が適用されず、1回6~7千円の検診費用は重い負担となっている。厚生労働省は今年度の通達で、「14回の検診が必要であり、公費負担が望ましい」としている。鈴鹿市の子育てメニューとして、公費での妊産婦検診の14回への回数増を求める。



答弁② 県下市町で協議し、来年度から統一して公費での検診回数2回から5回に増やす予定である。市単独での上乗せは、今のところ考えていない。

日本共産党 森川ヤスエ 議員



① 中学校給食について
② 後期高齢者医療制度について

質問① 学校給食ではないランチサービスを行っているのは三重県下で鈴鹿市だけで近隣市町のほとんどが中学校給食実施へ動いている。鈴鹿市もランチサービスから「中学校給食」へ方向転換を図るべきである。

答弁① ランチサービスも3年経ち、その検証を行なって、鈴鹿市の中学校給食のあり方というものについて教育委員会に検討をすすめさせる。

質問② 後期高齢者医療制度は高齢者医療の差別

化と診療抑制及び負担増の改悪であり国に中止を求めるべきである。また実施される場合は保険証取り上げなどすべきではない。

答弁② 県内すべての市町が加入する広域連合が運営主体となり広域化による安定的な保険財政の運営を図るものでご理解願いたい。滞納者を精査し、充分考慮していきたい。



政友会 今井 俊郎 議員



- ① シティーセールスについて
- ② 清掃センターでのゴミ管理について
- ③ 江島総合公園指定管理者選定について

質問① 特命大使の任命はどうなっているのか。

答弁① 「鈴鹿市出身者等リスト」としてまとめ上げ、大使を任命するにあたっての、趣旨、対象、業務、報酬等の運用を先月末に制定したところである。任命するに至った場合には事前に報告する。

質問② 持ち込みゴミの仕分け管理は大丈夫か。

答弁② 清掃センターなどに持ち込まれた、燃えるごみや不燃物ゴミ等で、どちらかの判断の難しいゴミに関しては職員が判断している。また、少量の混載されたごみ

に関しては状況に応じてその場で預かり、まとめてそれぞれの処分場で処理をしている。

質問③ 選定委員会委員は鈴鹿市のスポーツ振興に精通しているのか。選定委員会の答申についてどのように判断しているのか。選定基準に偏りがあるのでは。

答弁③ スポーツの専門家ではないが、事前に施設の見学や説明を行っている。選定委員会より頂いた答申を尊重して判断した。選定委員の皆さんに慎重に審議頂いた結果であり最高得点団体を候補者とした。



新政会 中村 浩 議員



- ① カジュアルデーについてのパート4
- ② 長太海岸堤防の保全についてのパート2

質問① カジュアルデーを採用して10年。提言時の意図は平服で勤務することが市民の立場で行政をするという事であった。カジュアルデーの現状と具体的な経過は。またそれによって職員の意識改革はなされているか。意識改革のために人事評価制度を全職員に導入すべきだと考えるがどうか。

答弁① 自由な雰囲気、自由な発想を期待し、市民に親しみやすい市役所づくりを目指し、市民サービスの充実を図るため導入した。その雰囲気の中、発想されたもの

の積み重ねが、今の職場風土として、築き上げられてきている。人事評価制度は現在、管理職員による試行を行っており、公平・公正な納得性の高い制度の構築を行っていく予定である。

質問② 長太堤防の平成16年度の耐震性調査の結果を受けて市(問題無)と県(問題有)の見解に相違があるが、また市が実施した超音波診断の結果は。

答弁② 県の耐震点検では、地震発生時には多少の変状はあるが、防潮施設の機能はほぼ確保されており、総合的に判断し危険度が低いと答弁した。しかし超音波診断では、部分的に地中レーダーの反射パターンの不規則な部分が見受けられたので、今後の対応を関係部局と協議したい。

平成19年度 議会からの提言

平成19年度、各常任委員会では、第5次鈴鹿市総合計画にうたわれている「市民一人ひとりが夢や生きがいをもって安心して暮らせるまち」の実現に向けて、それぞれの所管事務について調査研究し、その結果を20年度以降の予算や施策に反映されるよう1月15日(火)に市長に申し入れました。【報告の抜粋は以下のとおりです。】



大西議長より川岸市長へ

総務委員会 自主財源の有効活用策について、部局を越えた協力体制により、市全体での有効な活用を図ることや、民間活力の活用の推進など。

文教福祉委員会 救急医療の受入れ態勢維持のための改善施策の早急な実施、学童保育の充実、総合型地域スポーツクラブの設立支援など。

生活産業委員会 C-BUS南部路線の検証をしつつ、その他地域の公共交通の検討をされたい。住民に理解の得られる不燃物リサイクルセンターを目指されたいなど。

建設水道委員会 市営住宅について、将来を見越した効率的なストック形成を図ることや、地籍調査について、公共事業の円滑な遂行となるような地区選定をすることなど。

委員会 活動状況

常任委員会(総務・文教福祉・生活産業・建設水道)では、定例会において付託された議案や請願の審査のほか、所管事務事項や閉会中の継続調査となった事項についての調査・現地視察を行いました。また、議会運営委員会、地震防災特別委員会、議会基本条例特別委員会においても、それぞれ所管の調査事項についての調査研究や行政視察を実施しました。

議会基本条例特別委員会

10月10日(水)
伊賀市

- 議会基本条例について



地震防災特別委員会

11月8日(木)
11月9日(金)
長岡市

- 中越復興市民会議について
- 中越大地震からの復興計画について



議会運営委員会

11月13日(火)
11月14日(水)
小田原市・沼津市

- 議会運営について



建設水道委員会

11月21日(水)
鈴鹿市内

- 市営住宅について



議会の動き(議長・副議長の公務等)

9月

- 28日 椋川改修促進期成同盟会総会(議長)
文化振興事業団理事会(副議長)

10月

- 4日 鈴鹿亀山地区広域連合議会定例会(関係議員)
- 5日 議会基本条例特別委員会
鈴鹿市学校給食センター起工式(議長、文教福祉委員長)
- 8日 第二名神自動車道建設促進期成同盟会及び第二名神高速道路三重・滋賀建設促進県民協議会合同大会(議長)
- 9日 各派、広報、議員一日視察
- 10日 東海市議会議長会理事会(議長)
議会基本条例特別委員会行政視察(伊賀市)
- 13日 ふれあい広場鈴鹿(正副議長、議員)全国市議会議長会研究フォーラム(熊本)(正副議長、議員)～16日
- 16日 三重県市議会議長会海外行政視察(オセアニア方面)(関係議員)～25日
- 18日 文教福祉委員会
- 21日 日中友好促進三重県市議会議員連盟訪中使節団(関係議員)～27日
- 25日 鈴鹿市茶業組合通常総会(議長)
- 27日 鈴鹿市内特別支援学級連合運動会(議長、議員)
- 28日 鈴鹿市障害者ふれあい運動会(副議長)
- 29日 地震防災特別委員会
鈴鹿商工会議所議員懇談会(議長、生活産業委員長)
- 30日 三河鈴鹿農業共済事務組合議会定例会(関係議員)
- 31日 北勢公設地方卸売市場組合議会定例会(関係議員)

11月

- 1日 生活産業委員会
- 4日 鈴鹿市美術展(議長)・鈴鹿市民剣道大会(副議長)
- 6日 北勢5市議会懇話会(正副議長)

略称/各種会議名	各派/各派代表者会議	政調/政務調査費経理責任者会議
議運/議会運営委員会	全協/全員協議会	広報/議会広報広聴委員会

- 7日 各派、商工会議所青年部設立30周年記念式典(議長)
- 8日 地震防災特別委員会行政視察(長岡市)～9日
- 9日 全国市議会議長会第83回評議員会(東京)(議長)
- 10日 安全・安心フェスタすずか開会式(議長、生活産業委員長)
交通安全凶画・ポスター表彰式、防火ポスター表彰式(議長)
- 12日 文教福祉委員会
- 13日 議会運営委員会行政視察(小田原市、沼津市)～14日
- 15日 鈴鹿市社会福祉大会(正副議長、文教福祉委員長、議員)
- 16日 全協、政調、広報、議会基本条例特別委員会
- 18日 わが町加佐登まちづくりイベント及び農芸祭(議長)
- 20日 地方自治法施行60周年記念式典(東京)(議長)
- 21日 建設水道委員会
- 22日 商工優良従業員表彰式(議長、生活産業委員長)
- 26日 三重県後期高齢者医療広域連合議会定例会(議長)
- 27日 議運、各派
- 29日 羽島市との相互応援協定締結式(正副議長)
- 30日 鈴鹿亀山地区広域連合議会臨時会

12月

- 1日 市制65周年記念式典(正副議長、議員)
- 4日 本会議、議運、各派
- 10～14日 本会議
- 13日 議運、各派
- 16日 鈴鹿シティマラソン(議長、議員)
- 17日 文教福祉委員会、建設水道委員会
- 18日 総務委員会、生活産業委員会
- 19日 文教福祉委員会
- 20日 各派、議運、各派
- 21日 本会議、文教福祉委員会、政調、広報

議決一覧表（12月定例会）

議案番号	件名	議決内容	
議案第 90号	平成19年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	賛成多数
議案第 91号	平成19年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	賛成多数
議案第 92号	平成19年度鈴鹿市老人保健特別会計補正予算(第2号)	原案可決	賛成多数
議案第 93号	鈴鹿市営住宅管理条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 94号	鈴鹿市小集落改良住宅管理条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 95号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 96号	工事請負契約の変更について(椿小学校屋内運動場増改築工事)	原案可決	全会一致
議案第 97号	財産の取得について(鈴鹿市学校給食センター厨房機器)	原案可決	全会一致
議案第 98号	住居表示を実施すべき区域について(自由が丘団地)	原案可決	全会一致
議案第 99号	平成19年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	全会一致
議案第 100号	鈴鹿市職員給与条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 101号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 102号	工事請負契約について(石垣池公園陸上競技場改修工事)	原案可決	全会一致
議案第 103号	指定管理者の指定について(鈴鹿市立体育館ほか)	原案可決	賛成多数
議案第 104号	鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について	原案可決	全会一致
議案第 105号	鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について	原案可決	賛成多数
発議案第 8号	市長の専決処分事項の指定について	原案可決	全会一致
発議案第 9号	鈴鹿市に情緒障害児短期治療施設の建設を求める意見書	原案可決	全会一致
発議案第10号	地方財政の強化・拡充、及び財政健全化法の施行にあたっては地方自治原則の堅持を求める意見書	原案可決	賛成多数

請願番号	件名	議決内容	
請願第 5号	後期高齢者医療制度の見直しを求める請願書	不採択	賛成少数
請願第 6号	情緒障害児短期治療施設鈴鹿市建設誘致における意見書の提出を求める請願書	採択	全会一致

人事案件

12月22日の本会議において、市長から提案された人事案件について、次のとおり同意しました。

- 公平委員会委員の選任同意 ○教育委員会委員の任命同意
- 杉野 一 氏 吉本 強 氏



会議録のお知らせ

一般質問や議案質疑など本会議の詳しい内容については、会議録が閲覧できますのでご覧ください。12月定例会の会議録は、3月中旬に市立図書館及び各地区市民センターなどに配布予定です。また、鈴鹿市議会ホームページに、会議録検索システムを掲載していますのでご覧ください。

傍聴のご案内

本会議や常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び全員協議会は傍聴できます。日程は市役所の掲示板と市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局へご確認ください。電話 382-7600

テレビ中継のお知らせ

本会議の代表質問・一般質問を、CNSテレビ(アナログ20ch・デジタル702ch)で生放送します。放送時間は、午前10時(開会時間)から会議の終了までです。ぜひご覧ください。